

## 2. 生活習慣・学習環境などに関する改善ポイント

- 毎日の寝る時刻、起きる時刻、勉強する時間などが安定していないことが分かりました。また、1日のテレビ等の視聴時間が比較的長く、食事中にテレビをつけたままの傾向が高いことも分かりました。

このことから、生活習慣については、保護者の方々とともに考えていきたい課題であるととらえています。

- 地域行事への参加状況は高い傾向にある一方で、他者をいたわり思いやる体験の少ないことが分かりました。

このことから、相手を尊重し、その場で即座に自らの行動を選択し、判断できる力を、保護者とともに育成していきます。

また、学んだことを発揮し、振り返る活動の場として地域社会や異学年とのかかわりを積極的に活かしていきます。

- 「蜘蛛の糸」を今までに読んだり聞いたりしたことのない生徒が多いことについて、社会的な関心や教養などを高めるという観点で、保護者や地域と連携をもちながら様々な話題を生徒に語りかけていきます。

- 学習を通して身に付けさせる知識や考え方については、一人一人の生徒が「わかる」「できる」「つかえる」ように授業の質を高めていきます。

また、生徒が学ぶことの意義を感じ、自らのよさに気づき、友だちのよさを尊重する授業の創造をめざします。